



「ゆーぱーく光」の来館者が10万人を達成（11月7日）

平成24年10月の開館以来、わずか1年1カ月で来館者10万人を達成。今後とも世代を超えた交流と憩いの場、健康づくりの場として市民の皆さんに親しまれ愛される施設となりますよう、指定管理者とともに適切な運営に努めてまいります。



冠山総合公園に「ひかり花館」がオープン（9月1日）

光市観光協会の市役所からの移転に伴い、同公園の売店が新たな観光拠点としてリニューアルされました。「ひかり花館」では、市役所閉庁日にも観光客への対応が可能となったほか、市特産品などの展示販売も一層充実しました。



市の公用車に初めて電気自動車を導入（11月7日）

地球温暖化防止に関する取り組みの一環として、市職員のエコ活動により生じた削減効果を市民サービスに還元する「職員エコプラス事業」基金を活用して、二酸化炭素を排出しない電気自動車を導入。今後、事業所や市民の皆さんへの普及・啓発にも繋げていきたいと考えています。



市民対話集会を開催（10月22日～11月13日まで7回開催）

「絆」～防災・減災を考える～をメインテーマとして、防災・減災に関する市の取り組みのほか、西ノ庄連合自治会と周防地区の先進的な事例などを紹介しました。また、意見交換会においては、多くの意見・提言をいただきました。



浅江中学校生徒を宮城県東松島市へ派遣（8月8日～10日）

宮城県東松島市で実施された「シンサイミライ学校交流会」に浅江中学校3年生6人が参加しました。宮城県石巻西高校を拠点に、仮設住宅・大川小学校・鳴瀬第二中学校を訪問するとともに、津波に関する講義を受け、防災に関するワークショップに取り組みました。

- 12月 22日 消防出初式
- 23日 離職者再就職支援事業開講式
- 24日 第8回小学生駅伝競走大会
- 17日 成人のつどい
- 16日 第9回心身障害児者体育大会
- 9日 第11回消防まつり
- 7日 市長表彰および教育委員会選奨交付式
- 6日 三島温泉健康交流施設「ゆーぱーく光」来館10万人達成記念セレモニー
- 27日 市民対話集会（11月13日まで7回開催）
- 22日 市民体育大会
- 20日 第68回国民体育大会セーリング競技優勝・入賞報告
- 16日 第9回心身障害児者体育大会
- 14日 市民対話集会（11月13日まで7回開催）
- 13日 市民体育大会
- 12日 三島温泉健康交流施設「ゆーぱーく光」1周年記念行事
- 6日 みたらい湾花火大会
- 1日 早長八幡宮秋まつり

- 10月 1日 三島温泉健康交流施設「ゆーぱーく光」2次審査および表彰式
- 28日 漁業就業確保育成事業研修修了式
- 22日 食育推進事業「光の恵み料理コンテスト」
- 14日 大和総合病院第3回病院祭
- 2日 ふるさと郷土館開館20周年記念イベント
- 1日 長寿者慶祝訪問
- 9月 1日 「ひかり花館」オープン
- 29日 第7回教育フォーラムin光
- 23日 コンパクトなまちづくり講演会
- 17日 第7回教育フォーラムin光
- 1日 防災教育交流事業で、浅江中学生徒6人を宮城県東松島市へ派遣（10日まで）
- 28日 戦没者追悼式

- 8月 8日 日本ジャンボリー地域プログラム（6日まで）
- 5日 農業振興拠点施設「里の厨」レジ通過者50万人達成記念セレモニー
- 4日 周防柱松
- 27日 光花火大会
- 22日 第4回議会報告会（8月3日まで4回開催）
- 21日 参議院議員通常選挙
- 14日 第40回クリーン光大作戦
- 12日 岩田駅周辺が、コンパクトなまちづくり推進事業モデル地区に指定
- 7月 11日 三島温泉健康交流施設「ゆーぱーく光」7万人来館記念式典
- 30日 自主防災組織リーダー研修会
- 3日 防災パトロール
- 2日 第17回水道まつり
- 31日 「雇用の日」メッセージフェア
- 21日 伊藤公資料館長州ファイブ出港イベント
- 12日 伊藤公資料館オープンセレモニー
- 4日 カンロ資料館オープンセレモニー
- 21日 第32回藤公の里マラソン大会
- 10日 伊藤公資料館来館20万人記念セレモニー
- 3日 消防団大防ぎょ訓練
- 17日 第26回梅まつり（3月10日まで）
- 14日 住宅防火防災推進シンポジウムin山口
- 10日 第19回国際交流のつどい
- 26日 第9回女性のつどい
- 19日 成人のつどい
- 13日 第58回光市一周駅伝
- 7日 離職者再就職支援事業開講式



# 2013年 写真で振り返るひかり

平成25年 光市の「10大ニュース」



コンパクトなまちづくり推進事業のモデル地区に選定（7月12日）

市では、岩田駅周辺地区のコンパクトシティ化に向けた事業計画の策定をすすめています。同地区が県のコンパクトなまちづくり推進事業のモデル地区に選定されました。今後、県道の拡幅など、県からの大いなる支援が期待されます。



「伊藤公資料館」の来館者が20万人を達成（3月21日）

平成9年の開館以来、伊藤博文公の業績を紹介するとともに、幕末から明治にかけての歴史を学習する場として多くの人に親しまれてきた伊藤公資料館が、長州ファイブ渡英150年となる節目の年に来館者20万人を達成しました。



「里の厨」のレジ通過者が50万人を突破（8月8日）

平成23年7月のオープンから2年と15日目でレジ通過者が50万人を突破しました。市では、これからも農業振興拠点施設「里の厨」を、地産地消の推進や地域農業の振興のほか、食農教育の促進や観光振興の拠点として活用し、地域の活性化を図ってまいります。



40回目を迎えた「クリーン光大作戦」（7月14日）

毎年恒例の「クリーン光大作戦は、光市民の市民力の高さを表す良き伝統行事となっており、環境美化はもちろんのこと、地域住民のふれあいの場であり、青少年の社会参加の絶好の機会ともなっています。こうした良き伝統行事とともに美しいふるさとを次世代に継承していきましょう。



「雇用の日」にメッセージフェアを開催（5月31日）

市では、毎年5月31日を「雇用の日」と位置づけています。この日は、雇用について考えるとともに企業の情報発信を行うためのフェアを開催し、「安心職場『雇用』を守る企業」宣言事業所の認定や基調講演のほか、市内企業と高校生による意見交換会などを行いました。

2013年（平成25年）の主な出来事